

新型コロナウイルス感染症対策のため開催を【延期】としますので、ご了承ください。

2020年度「ぶんせき講習会」(基礎編その1) 「分析における統計手法 ～統計の基礎と統計手法の実際について～」

主催 (公社) 日本分析化学会近畿支部, 近畿分析技術研究懇話会
協賛 (公社) 化学工学会関西支部, (一社) 近畿化学協会, (公社) 日本化学会近畿支部,
(公社) 有機合成化学協会関西支部, 関西分析研究会, (一社) 化学とマイクロ・ナノシステム学会

分析機器の近年の進歩はめざましく高性能化が進み, さらにはその操作も簡便化しています。このため初心者でも測定データをたやすく得ることができるようになった反面, ブラックボックス化した分析機器からコンピュータ処理された測定データが「そのまま使える」数値として出力されるため, その値が「意味のある値」であるかどうかを吟味することや有効数字を意識するケースが少なくなったといえます。

そこで本講習会では, 主に分析初心者および統計に関して再度学習したい方を対象に, 分析化学における基礎である「有効数字, 測定データの統計処理」を学ぶ, あるいは学び直すための講義と演習を企画しました。これにより統計に関する基礎を習得できます。

日時 2020年5月15日(金) 10:00~16:20 (受付 9:30~)

場所 大阪府立大学 I-site なんば (南海なんば第1ビル)

(〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2丁目1-41, 電話: 06-7656-0441)

<交通> 南海電鉄「なんば駅」下車徒歩12分, 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅」下車 徒歩7分,
地下鉄堺筋線「恵美須町駅」下車 徒歩7分

詳細は URL 参照 <https://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/about/map/>

【講習プログラム】

1. データ取扱いの初歩 —計測と有効数字— (10:00~10:50)

産業技術総合研究所 古谷 俊介 氏

2. 繰り返しデータの統計の基礎 —誤差と信頼区間— (11:10~12:10)

理化学研究所 田中 陽 氏

3. 各種検定の考え方と実際 (13:30~15:00)

京都大学大学院工学研究科 内藤 豊裕 氏

4. 最小二乗法によるデータ解析 (15:10~16:20)

大阪大学大学院理学研究科 山本 茂樹 氏

*参加者には事前に電子メールにて PDF 資料 (演習問題を含む) のダウンロード方法に関する案内を送付します。演習問題は, 当日に講師が解説します。

*当日はテキストの配布は行いませんので, 各自で PDF をダウンロードし印刷して, あるいはタブレット等での持参をお願いします。

*関数電卓 (もしくはパソコン) を持参してください。なお, 書籍「実験データを正しく扱うために」(化学同人) を参考図書としています。

参加費 主催・協賛団体所属会員 6,000 円, 学生 2,500 円, 会員外 10,000 円

定員 80 名 (先着順申込受付とし, 定員になり次第締切)

申込方法 *参加を希望される方は, 近畿支部 HP (<http://www.bunkin.org/>) から本講習会のページに入ってください, 【参加申込フォーム】にて Web からお申し込み下さい。

*お申込み後, 自動返信メールが届きましたら, 開催日までに参加費のお支払いをお願い致します。参加費は銀行口座 (りそな銀行御堂筋支店 普通預金 No.2340726, 名義 公益社団法人日本分析化学会近畿支部) にお振り込み下さい。

*参加証と会場案内図・テキストダウンロード情報などをメールにて送付します。

当日, 送付された参加証を持参して下さい。

*講習会会場および館内で食事はできません。近隣の飲食店等をご利用下さい。

申込期限 4月23日(木) (4月24日以降のキャンセルは不可)

申込先 公益社団法人 日本分析化学会近畿支部
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
電話: 06-6441-5531 / FAX: 06-6443-6685 / E-mail: mail@bunkin.org
近畿支部 HP: <http://www.bunkin.org/>

問い合わせ先 大城 敬人 (大阪大学) toshiro@sanken.osaka-u.ac.jp

「基礎編その2 ~実験用基本器具, 電動ピペット, 電子天秤, pHメータの原理と使い方~」
6/19(金), 於: (株) 島津製作所,

「実践編 -第67回機器による分析化学講習会- ~ICP発光分光分析, 蛍光X線分析, 示差操作熱量計測(DSC)~」 7/12(金), 於: (株) 日立ハイテクサイエンス,

「発展編 ~ナノ光学素子を用いてタンパク質を検出・定量する~」 11月, 於: 大阪府立大学 I-site なんば,

をそれぞれ予定しています。